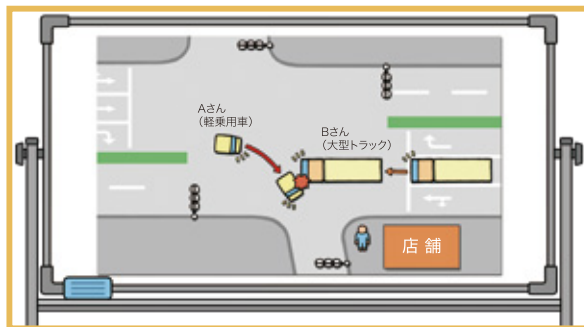


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、軽乗用車、30代)は、店舗に入ろうと右折車線のある片側2車線の交差点を右折しようとしていました。対向の第2車線を進行してくるBさん(男性、大型トラック、50代)を確認したところ、ウインカーが右に出ていました。Aさんは、「トラックは右折車線に入り右折するだろう」と思い込み、右折を開始。しかしBさんは、そのまま直進してきたので衝突してしまいました。

事故現場
略図



事故の原因

Aさんは、Bさんの右折ウインカーを見て「右折するだろう」と思い込んでしまったのと、「現場の店舗駐車場に待ち合わせの友人が立っていた」ことに気を奪われていました。そのため、トラックの動きに十分注意を払えず事故は起きました。一方Bさんは、第1車線

から第2車線に進路変更する際の安全確認に追われ、前方交差点から右折車が出てくることに注意を向けていなかったために、Aさんの発見が遅れてしまいました。また、ウインカーをキャンセルしなかったことも一因と考えられます。

安全運転に向けて指導のポイント

車対車の事故での「右折時死亡事故」は、「出会い頭」、「正面衝突」に次いで多くなっています。交差点での右折車両や右折をするときの直進車両には十分注意しましょう。双方がエラーを起こすことで事故は発生します。裏返せば、どちらかがエラーを起こさな

ければ事故は防止できるのです。相手の動きを注視することで、事故は未然に防げます。「相手任せではなく、安全は自分が守る」という意識で安全運転に努めましょう。

今月の安全メモ!

- ・交差点では、相手の動きを注視することで事故を未然に防ごう!
- ・「相手任せではなく、安全は自分が守る」という意識で安全運転に努めよう!